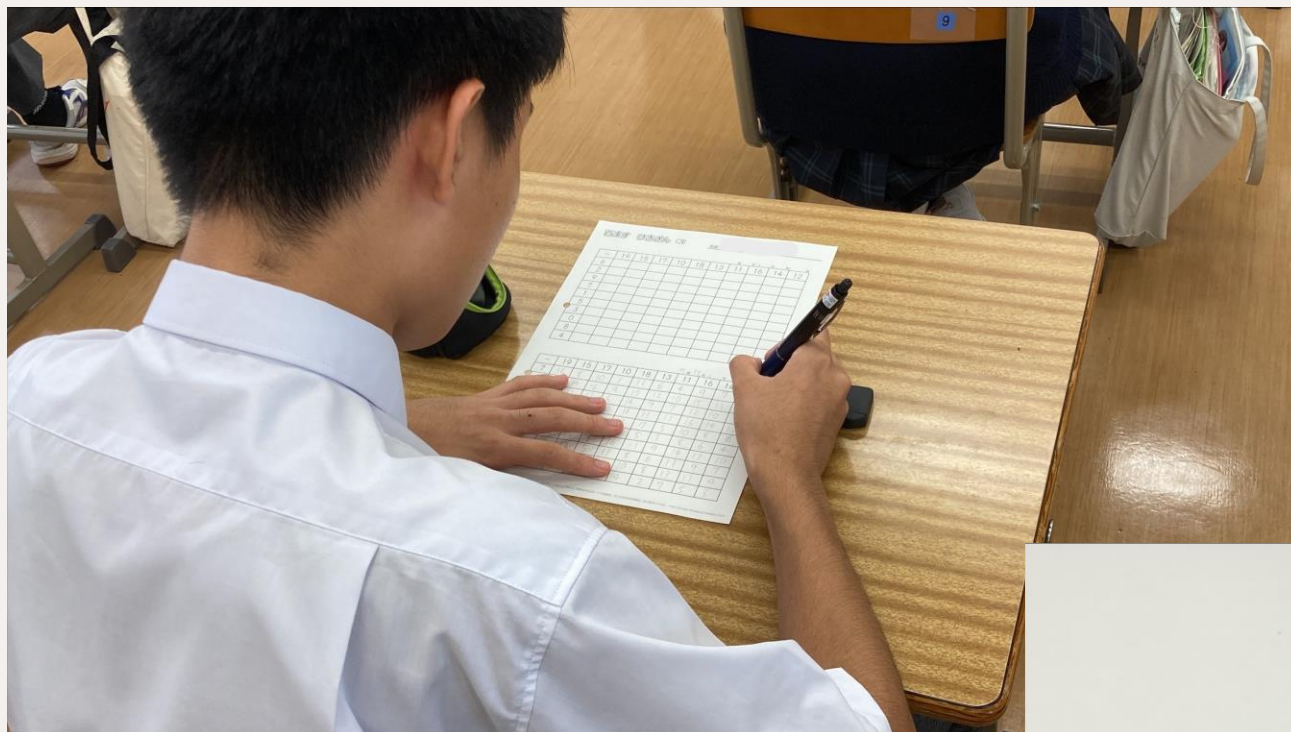


授業実践ギャラリー

職能開発科1年 数学

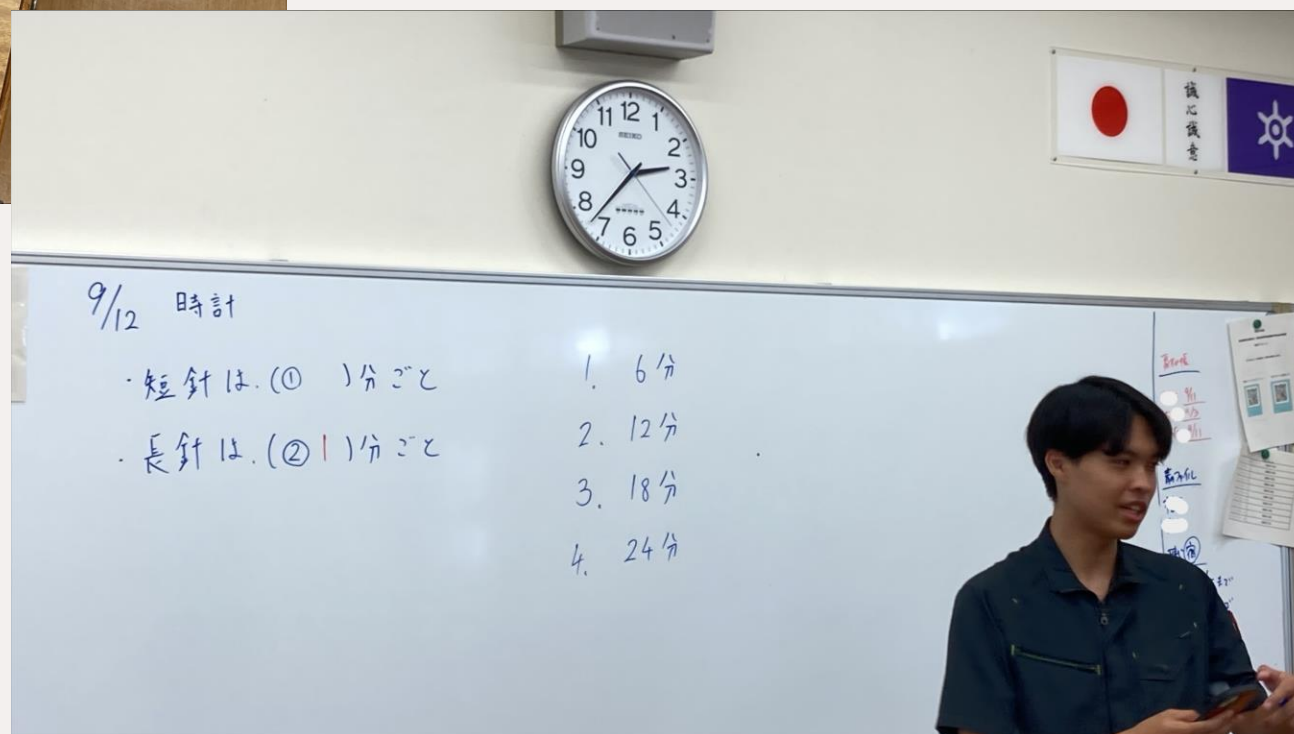
「数学的アナログ時計」

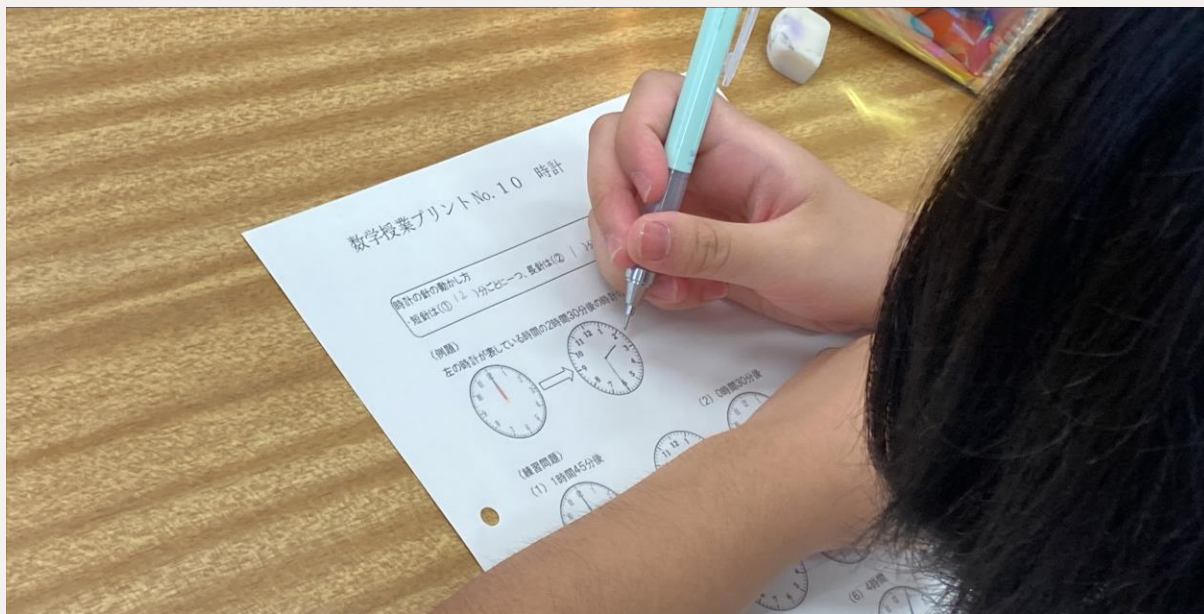




授業の最初は100マス計算。
 速い人は1分20秒前後で100問を解いていました。
 解き方にも個性が出ます。上から順にやる人もいれば、縦の数字（引く数字）のうち、得意な数字の列から取り掛かる人もいます。

さて、今日のメインは「時計」です。
 時計を見て時間が読めるのは、クリアしています。今日はより数学的に、短針の位置にこだわります。
 そもそも短針はひと目盛りを何分で動くのでしょうか？
 式を立てて正解できますか？





時間と分、短針と長針を分けて考えると、やりがちなミス。短針の位置をよく考えただけに、惜しいっ！

1 2時の2時間30分後は2時30分。
さて、短針はどこを指せばよいでしょう？
ひと目盛り12分だから、30分ということは？
直観的に読み取るアナログ時計を論理的に検証
しています。



同じ生徒の解答。これは正解！！お見事！！